



事業の概要

研究データを

ひろく つなげて つかいやすく

従来では困難であった
知識の創出やイノベーションを
促進します。

新たなイノベーション創出を 支えるデータベース統合



1 中核的な研究データベースの整備

分野ごとの中核的な研究データベースの統合・整備を通じ、研究データの収集、統一基準に基づく整理・公開を推進し、研究データを効率的に利用するための情報環境を提供します(別紙「統合化推進プログラム」参照)。



2 データの統合利用技術開発と利用開拓

研究データの整理や統合、高度な利用のための技術開発、アプリケーションの提供をしています。ライフサイエンス統合データベースセンター(ROIS-DBCLS)と共同で実施しています。



3 基盤的ウェブサービスの提供

研究データベースの所在情報の収集・提供、研究データの長期的な保全・提供、研究倫理に基づく適切なデータ取扱い基準の策定とその基準に基づくデータ管理・提供などを通じ、誰でも研究データを効率的かつ適切に検索・閲覧・活用できるようにしています。



■ 事業の背景

研究データ(以下、データ)の公開・共有、データ駆動型の研究スタイルの拡大など、研究活動のDX(デジタルトランスフォーメーション)が世界的に加速しています。生命科学分野においては、実験技術の飛躍的な進歩により様々なデータが爆発的に増加しています。これらのデータを解析することによって、新たな生命科学的知識の創出

やイノベーションの促進が期待されていますが、多種多様で膨大なデータを適切かつ効率よく解析するためには、データを網羅的・継続的に収集・整理・構造化して「統合」することが重要です。

本事業は、2011年4月から2022年3月まで、JST バイオサイエンスデータベースセンター (National Bioscience Database Center : NBDC) で実施してきました。